

工事名称：出石城公園山里曲輪石垣整備工事 事業地：豊岡市出石町内町地内
 事業期間：平成27年11月～平成29年3月(予定)
 事業主体：豊岡市

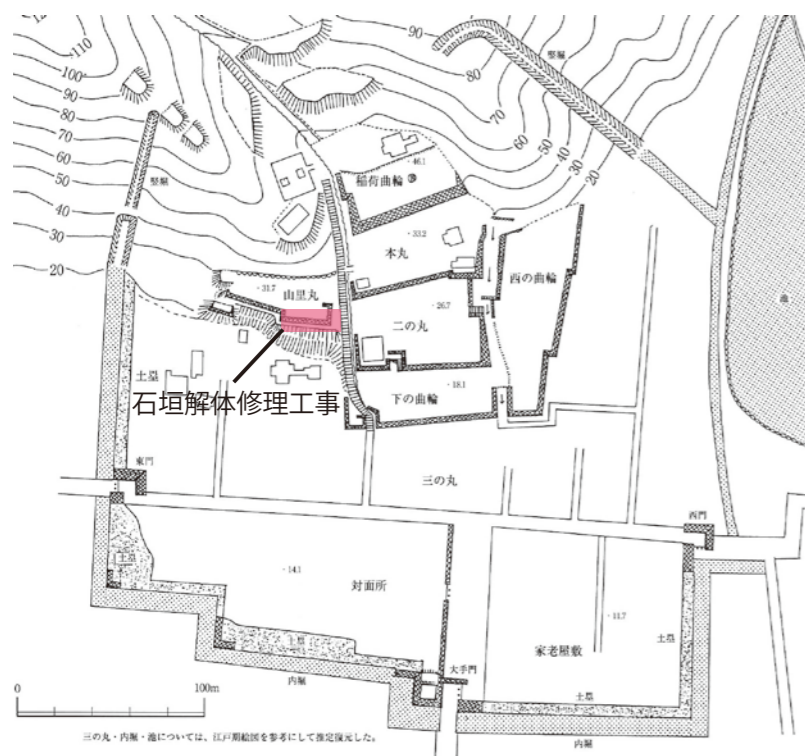
※本事業は出石城保存整備委員会(委員長：北垣聡一郎 石川県金沢城調査研究所 名誉所長)の助言・指導のもと実施しています。

1 はじめに

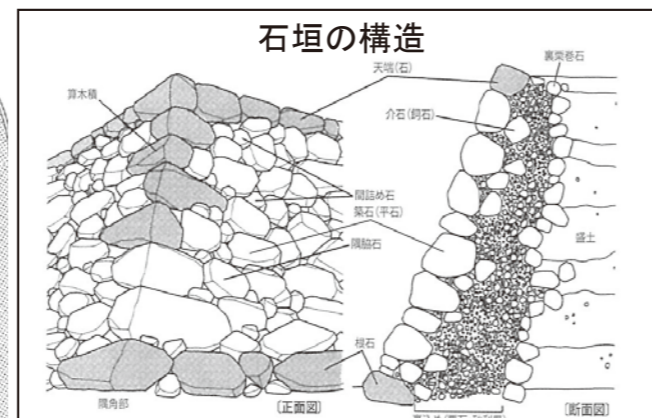
出石城は慶長9年(1604)に出石藩主となった小出吉英により、有子山のふもとに築かれました。江戸時代では但馬唯一の城であり、城下のに広がる町並みは「但馬の小京都」として多くの方々に親しまれています。

出石城の曲輪のうち、山里曲輪石垣について崩落の危険性が高いことから平成27年11月より石垣の解体修理工事を実施しています。解体の結果、石垣への土砂の流入や石材のひび割れなど石垣が傷んだことの原因が分かりました。また、曲輪を造る際に3m以上の盛り土をしていたことや石垣を固い地盤の上に乘せるために、もともとの地形を削る「地形根切り」をしていたことなど城を作る技術が明らかとなりました。但馬の城づくりを考える上で重要な成果です。

現在は解体が終了し、伝統的な石垣構築技術に基づいた積み直しを行っています。解体時の成果を活かし、未永く文化財として保存し安心して見学できるよう修理を進めていきます。



出石城復元図 西尾孝昌氏作図



石垣構造模式図

文化庁監修『石垣整備の手引き』より

用語解説

- 築石(つきいし) 石垣を構成する主要石材
- 間詰石(まづめいし) 築石の隙間を埋める石材
- 裏込め(うらごめ) 石垣の背後に詰められた石材
- 根石(ねいし) 石垣の基礎となる最下段の石材
- 天端石(てんばいし) 石垣最上部の石材で多くは水平に据えられる
- 飼石(かいいし) 石垣築石を背後で支える石材
- 算木積(さんぎつみ) 石垣の隅で、石材の長い面と短い面を交互に積み上げる技法
- 控え(ひかえ) 石材の長さ

2 解体に至る経緯、解体範囲

解体修理工事前の石垣



石垣の孕みだし

石垣石材(築石)の抜け落ち

石垣の損傷により崩落の危険性大→解体修理工事実施へ



石垣解体範囲(赤く塗った部分)



解体終了後の合成写真